



KDDI株式会社

個人投資家さま向け 会社説明会

本日のご説明内容

1. 会社概要

2. 事業概況

3. 成長戦略

この配付資料に記載されている業績目標等は、いずれも当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは、経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績等は、この配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

会社概要

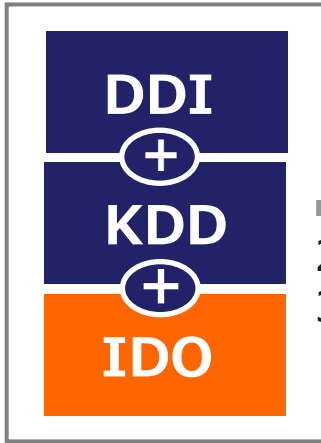
2

商号	KDDI株式会社	証券コード	東京証券取引所一部(9433)
創業	1984年6月1日	発行済株式総数	896,963,600株
業種	情報・通信	単元株式数	100株
代表取締役社長	田中 孝司	株価	7,225円 *3
主要株主の 状況 *1	京セラ株式会社 12.76%	時価総額	6.4兆円 *3
	トヨタ自動車株式会社 11.09%	配当利回り	2.21% *4
資本金	141,851百万円	PER (株価収益率)	14.23倍 *5
連結従業員数	28,036人 *2	ROE (株主資本利益率)	12.95% *6

*1：出資比率ベース（2014年3月末時点） *2：2014年9月末時点 *3：2014年10月31日終値ベース *4：2014年度配当予想(4/30発表)10/31終値より算出

*5：2014年度予想（4/30発表）と10/31終値より算出 *6 2013年度実績

沿革



- 2001年10月合併
- 2005年10月合併
- 2006年1月合併
- 2007年1月統合
- 2007年6月連結子会社化
- 2008年4月連結子会社化
- 2013年連結化

- au (セルラー7社)
- ツーカー
- パワードコム
- 東京電力 光ファイバ事業
- JCN *1
- CTC *2
- J:COM *3

[*1] ジャパンケーブルネット (株) [*2] 中部テレコミュニケーション (株) [*3] (株) ジャイロケーブル

モバイル

携帯電話/高速データ通信

固定通信

固定電話/光ファイバ/ケーブルテレビ

KDDI = 総合通信事業者

社是

「心を高める」

～動機善なりや、私心なかりしか～



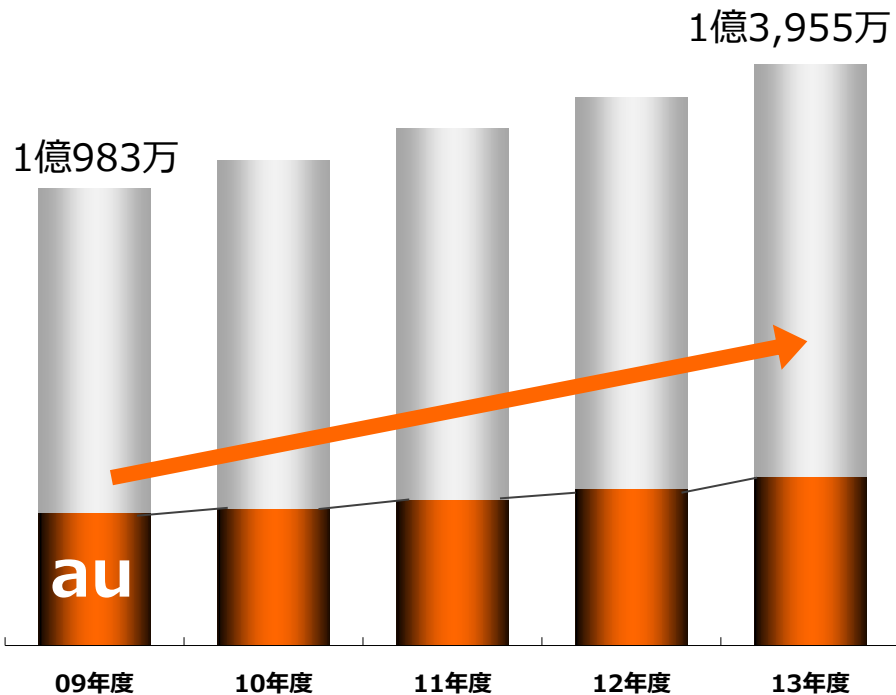
企業理念

KDDIグループは、全従業員のもの心両面の幸福を追求すると同時に、お客さまの期待を超える感動をお届けすることにより、豊かなコミュニケーション社会の発展に貢献します。

日本のモバイル通信市場

5

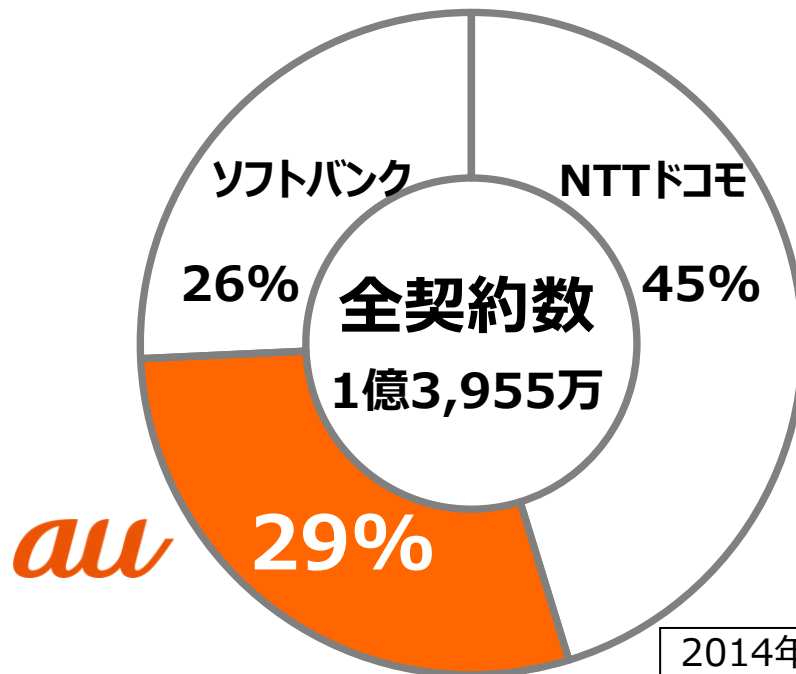
携帯電話契約数



*3社合計 (NTTドコモ, ソフトバンクモバイル, au)

出典 一般社団法人電気通信事業者協会、事業者別契約数

市場シェア

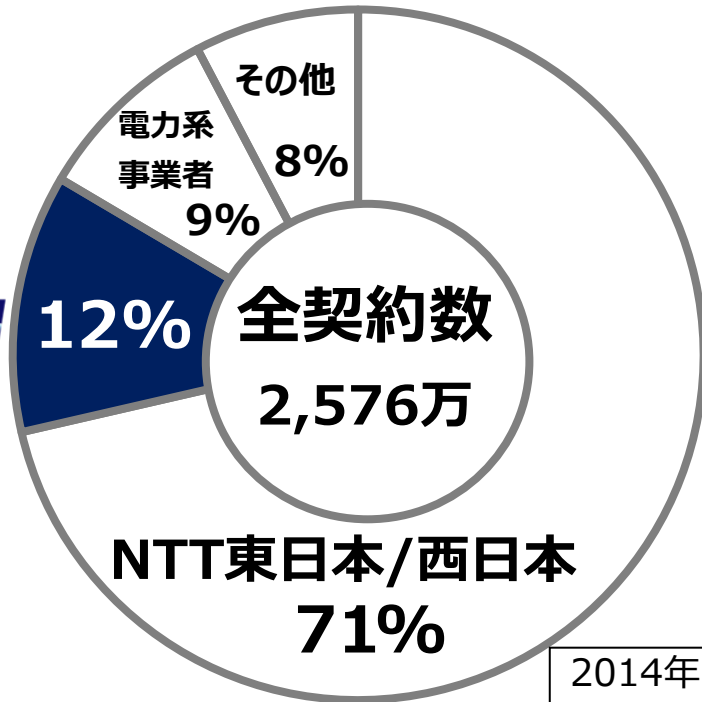


*3社間シェア (NTTドコモ, ソフトバンクモバイル, au)

出典 一般社団法人電気通信事業者協会、事業者別契約数

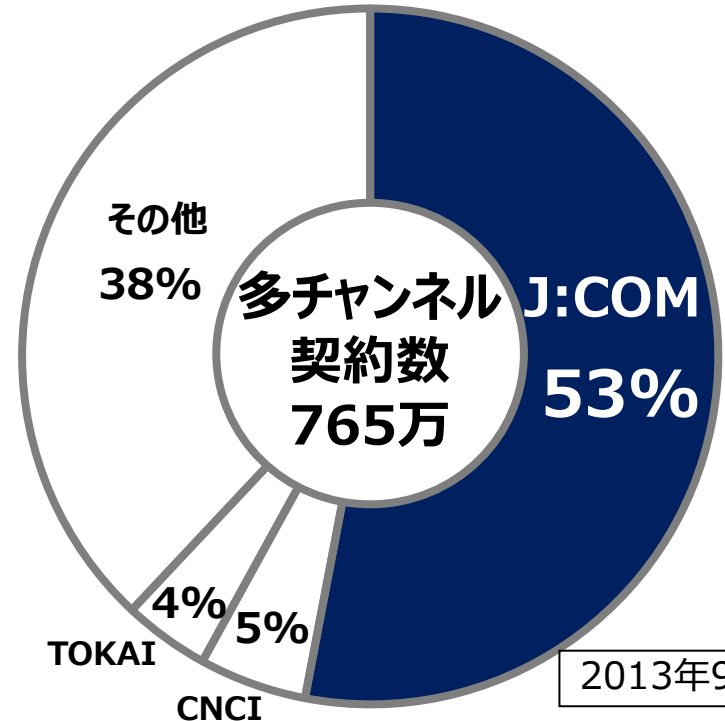
日本の固定通信市場

光ファイバ 市場シェア



* インターネットサービスの契約がある回線数
* 出典：総務省

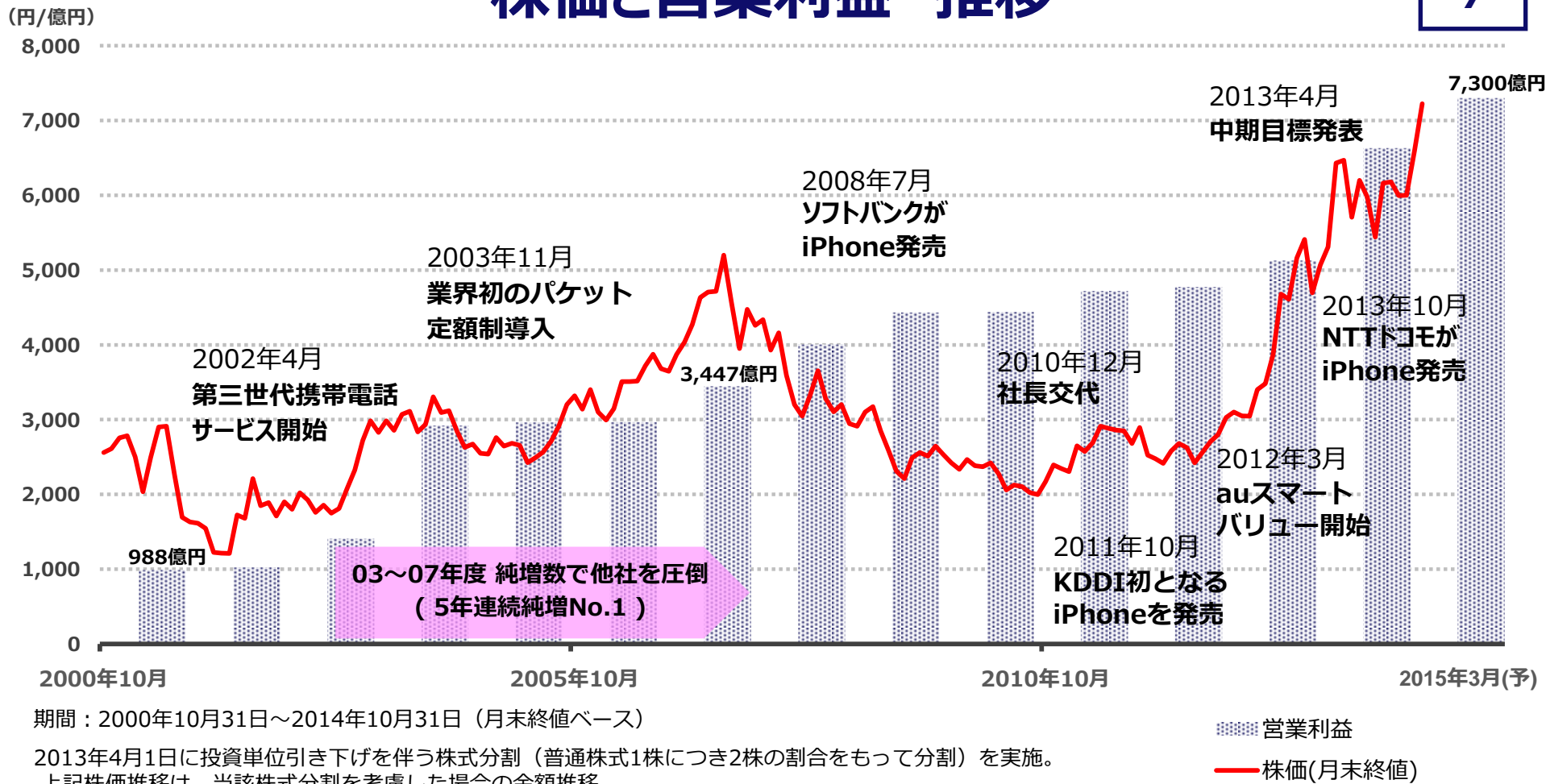
ケーブルテレビ 市場シェア



* JCNは2014年4月1日にJ:COMと合併したため、J:COMに含む
* 放送ジャーナル（2013年12月号）を基に当社作成

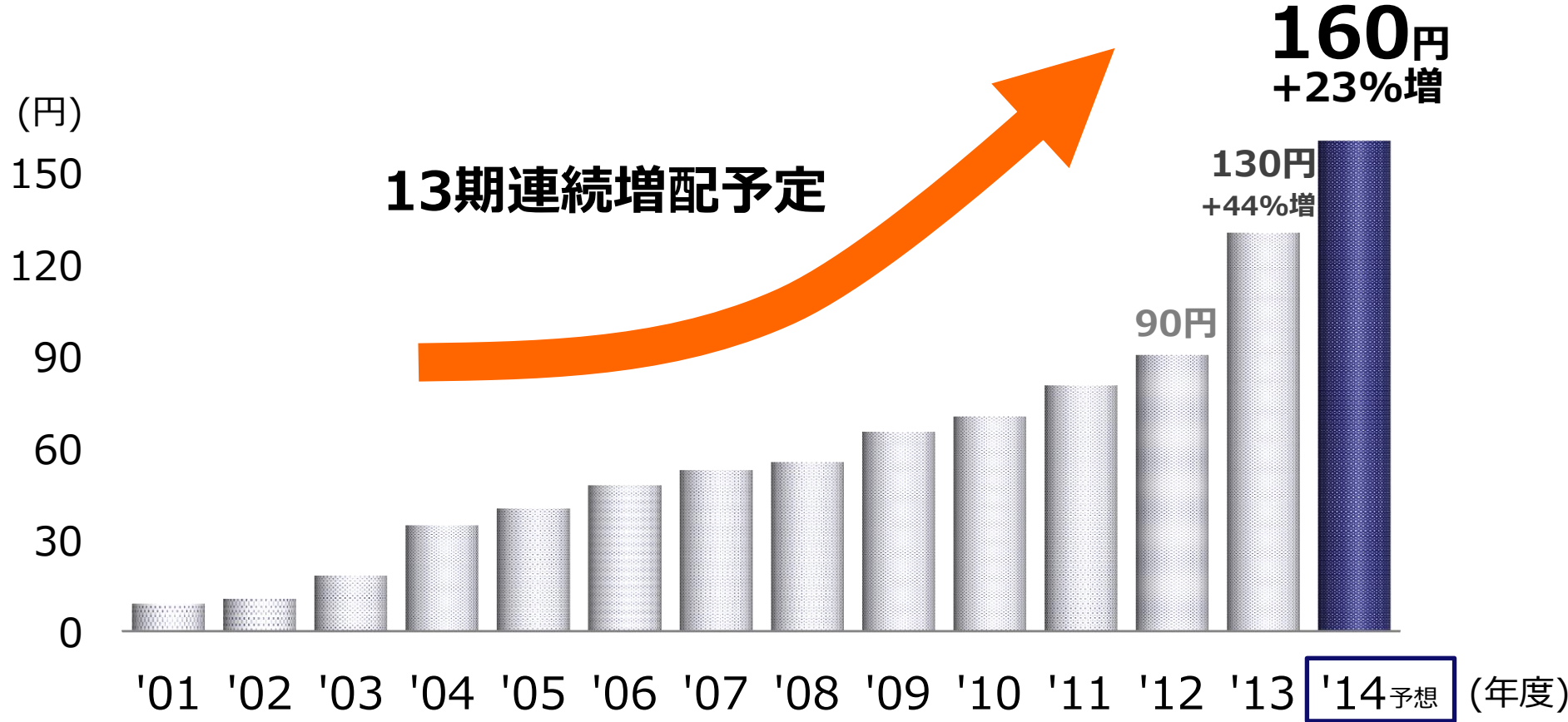
株価と営業利益 推移

7



1株あたり年間配当金

8



株主優待制度

保有株式数や保有期間に応じて、
au端末購入にご利用いただける優待券を贈呈

単位：円

保有期間 単元株数	1年未満	1～5年未満	5年以上	権利確定月
100～999株	5,000	8,000	10,000	3月末日
1,000～1,999株	10,000	13,000	15,000	
2,000株以上	15,000	18,000	20,000	

同封の優待券で新しいau端末をGETしよう!



本日のご説明内容

1. 会社概要

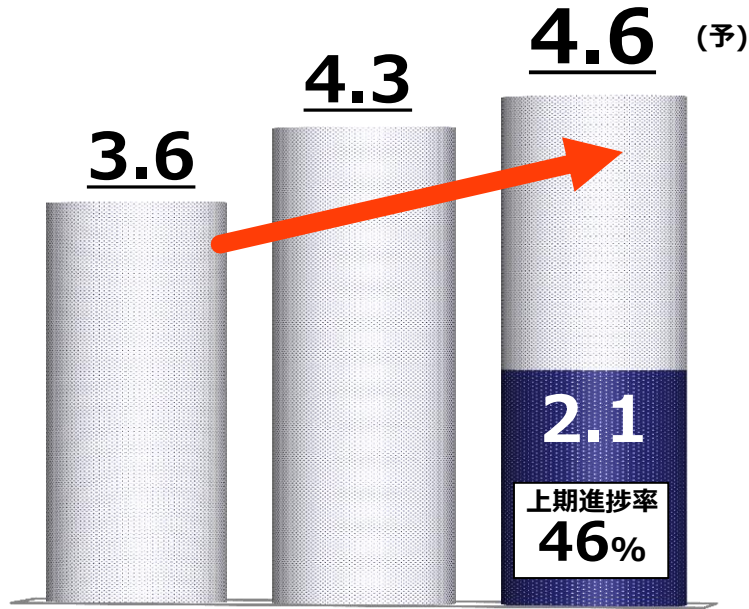
2. 事業概況

3. 成長戦略

連結業績（当年度進捗）

営業収益 (兆円)

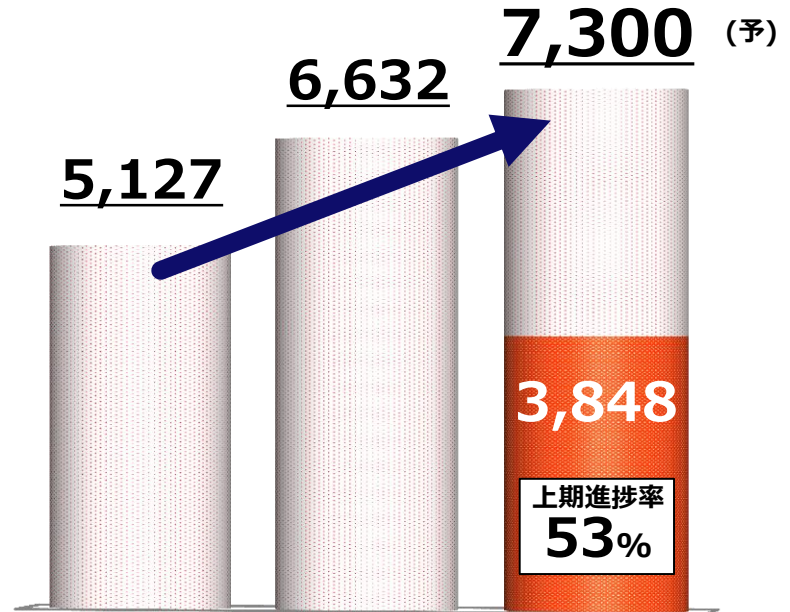
+6.1%増



2012年度 2013年度 2014年度

営業利益 (億円)

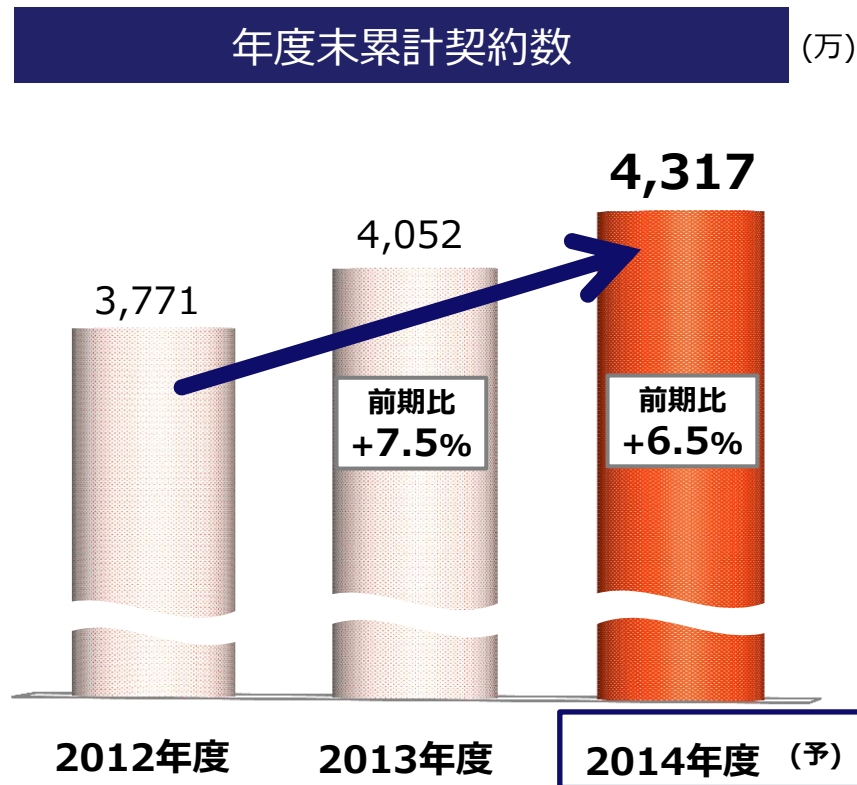
+10.1%増



2012年度 2013年度 2014年度

au契約数

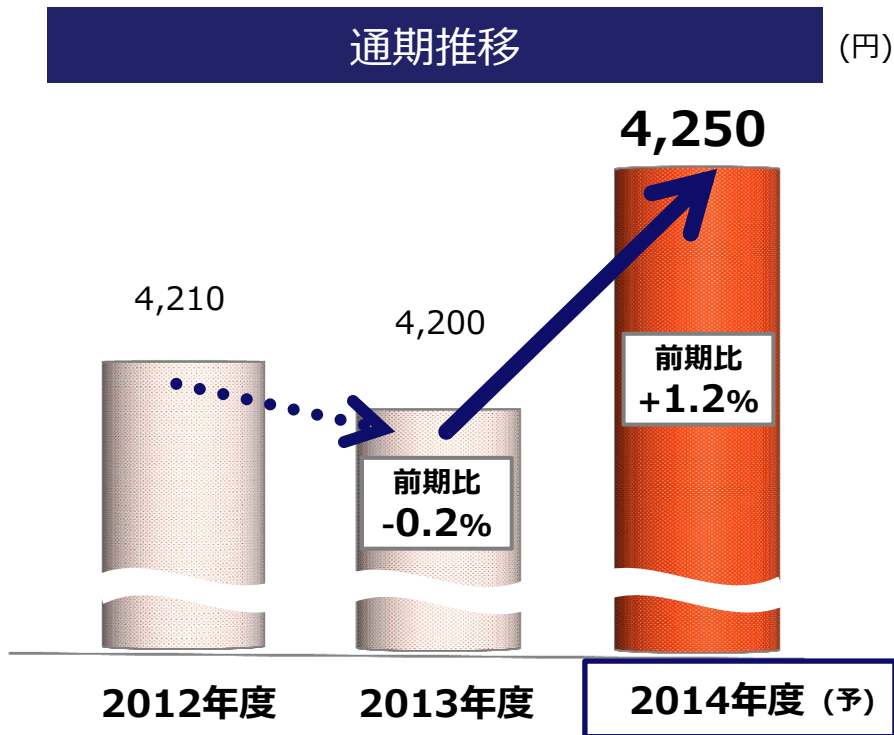
265万の純増を目指す



*au契約数は、連結ベース

au通信ARPU

通期比較で反転へ



*au通信ARPUは、パーソナルセグメントベース

*データ専用端末、タブレット、モジュールを除く、モバイル累計契約数で算出

*au通信ARPU = [音声 (割引前)] + [データ] - [割引適用額]

エリアの「広さ」に加えて、「速さ」の競争力も強化

2013年度

2014年度

2015年度

広さ

人口カバー率

au 4G LTE

800MHz
プラチナバンド

人口カバー率*1

2014/3/14

99%達成

速さ

受信最大速度*2



150Mbps

225Mbps*3

WiMAX 2+

110Mbps

220Mbps*4

さらに
先行く
「速さ」へ

※キャリアアグリゲーション（CA）およびWiMAX 2+は、対応機種において、一部のエリアで利用可能です

*1) 「人口カバー率」は、国勢調査に用いられる約500m区画において50%以上の場所で通信可能なエリアを基に算定

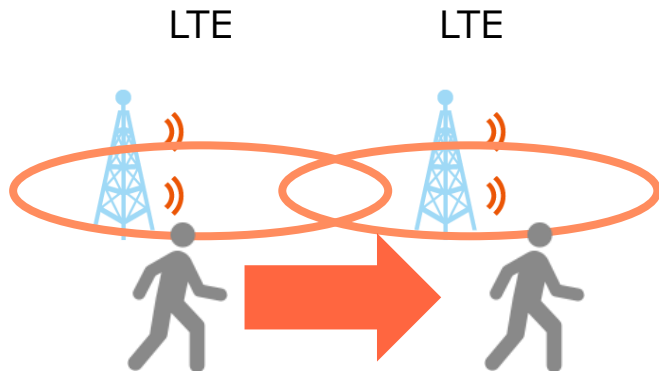
*2) 記載の速度は技術規格上の最大値であり、実使用速度を示すものではありません。エリア内であってもお客様のご利用環境、回線の状況により、低下する場合があります（ベストエフォート型サービス）

*3) 今後発売予定の対応機種において一部のエリアから対応予定。800MHz帯/2.1GHz帯エリアのすべてが、受信最大速度225Mbpsのキャリアアグリゲーション対応ではありません

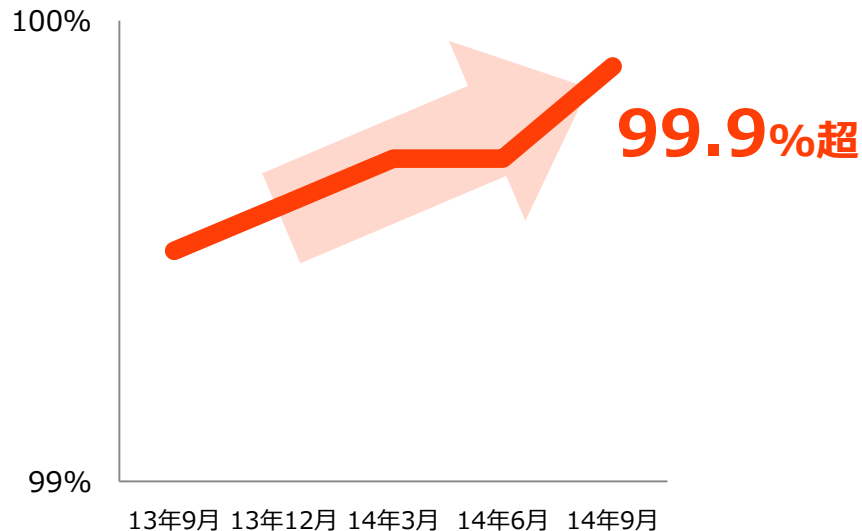
*4) 今後発売予定の対応機種において一部のエリアから対応予定

LTE維持率は99.9%超に。“ALWAYS 4G LTE”

LTE維持率とは

LTE維持率 = 通信中にLTEから3G
へ切替せずに通信が完了した割合

LTE維持率推移



*データ通信中にLTEから3Gへ切替せずに通信が完了した割合をLTE維持率として当社管理データから算定（全基地局の管理データが対象）

*LTE維持率の算出対象機種は当社800MHz LTE対応機種

本日のご説明内容

1. 会社概要

2. 事業概況

3. 成長戦略

国内事業の成長戦略

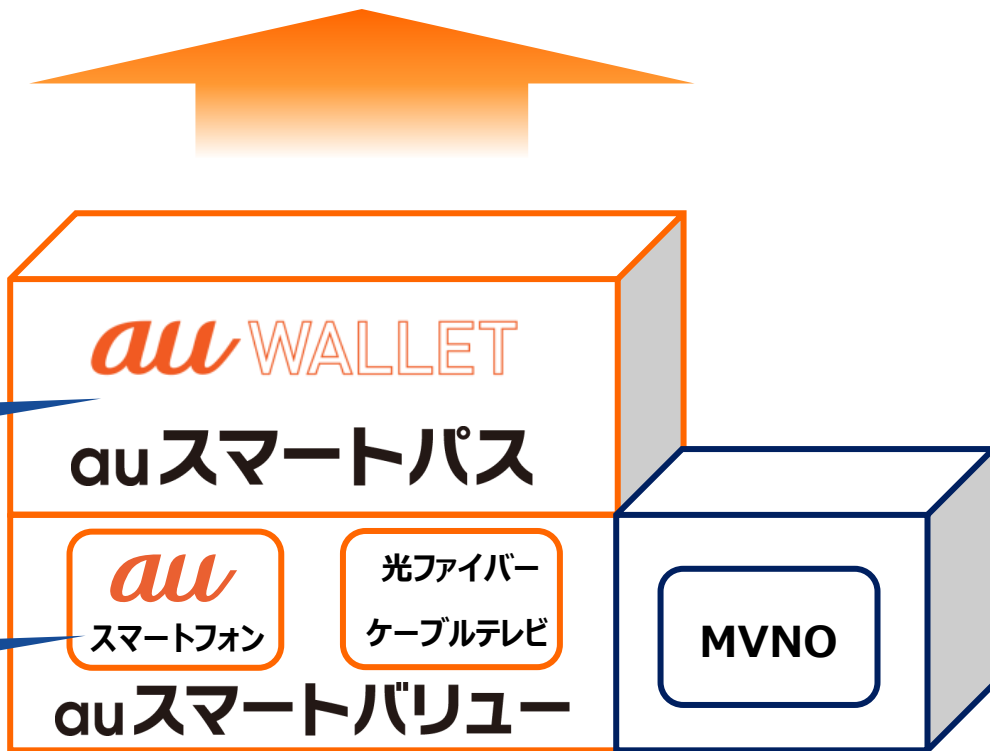
国内事業成長のキーファクター

18

お客さま 1 人
あたりの売上

付加価値売上

通信料収入



お客さま数

成長戦略の主なサービス（1）

適用条件の拡大により、より多くの方がご利用可能に

auスマートバリュー

携帯電話・スマホ*1



スマートフォン



タブレット



新料金プラン
ご利用の
auケータイ



固定通信*2



*1 指定のデータ通信定額サービスにより、割引額が異なります。2014年8月から、同一姓・同一住所のご家族に加え、別住所に暮らす50歳以上のご家族もauスマートバリューにお申込みいただけます

*2 「インターネット」+「テレビ」がauスマートバリュー割引の対象とならない提携先CATV会社があります。また、提携先CATVにより一部のインターネットコース、テレビコースがauスマートバリュー割引の対象外となる場合があります

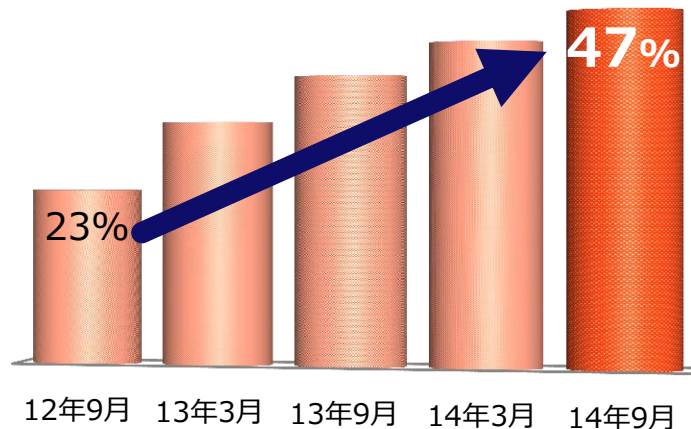
*3 J:COMにて2014年10月開始

auスマートバリュー

スマートフォン/光ファイバ契約者の約半数まで浸透

auスマートフォン契約者への浸透率*1

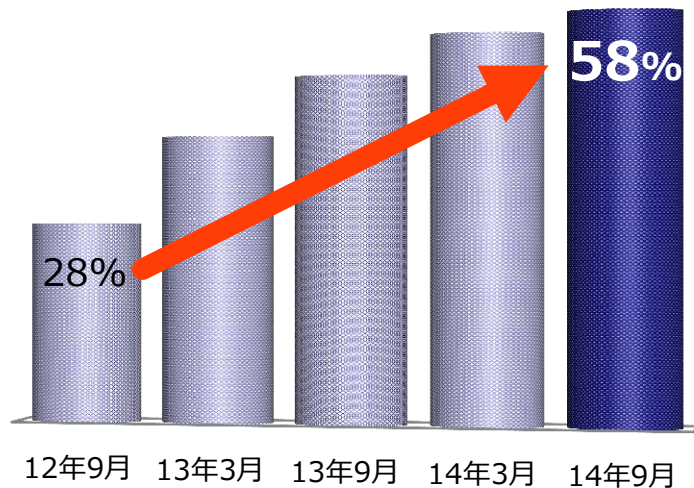
auスマートフォンの47%



*1 auスマートフォン契約者に占めるauスマートバリュー利用者の割合

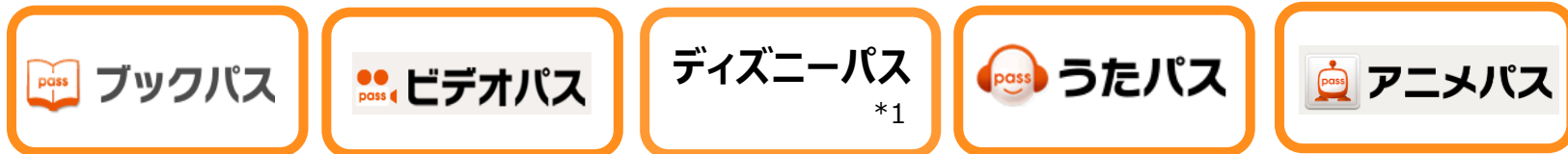
光ファイバ契約者への浸透率*2

auひかりの58%



*2 auひかり契約者に占めるauスマートバリュー利用者の割合

成長戦略の主なサービス（2）



au スマートパス

コンテンツ使い放題

ゲーム、エンターテインメント、
音楽、写真・ビデオ、占い、
コミュニケーションツール、
ライフサポート、etc・・・

ストレージ

50GB
au Cloud データお預かり

ラッキーな会員特典

コンビニ
割引券 コーヒードリンク
割引券
20%OFF
クーポン ...etc.

もっと安心

ウイルスバスター[™] for au
Powered by TREND MICRO
auスマートパス会員限定
修理代金^{最大} 7,800円 × 2^{回分}

*2

*3

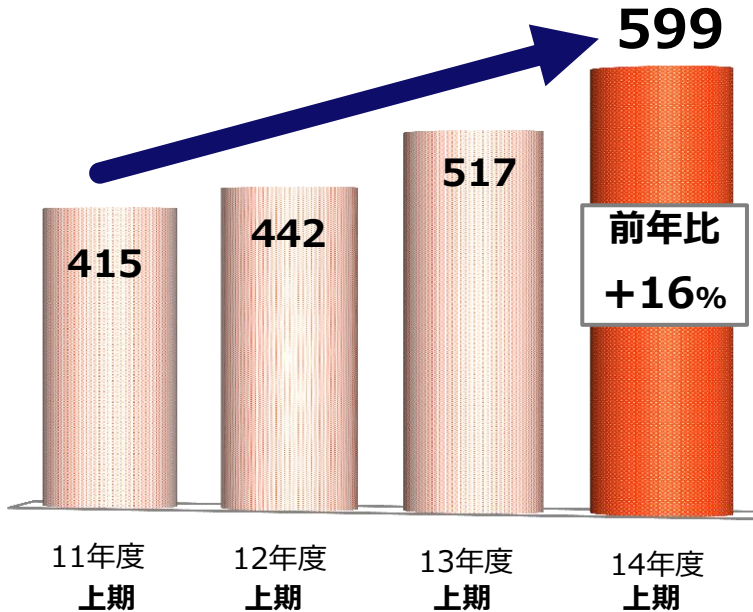
*1 このサービスはKDDIとDisney間の契約に基づき共同で提供・運営されています。*2 Android™スマートフォンのみ *3 iPhone iPadのみ
*「Android™」は、Google Inc.の商標または登録商標です。 iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。



auスマートパス

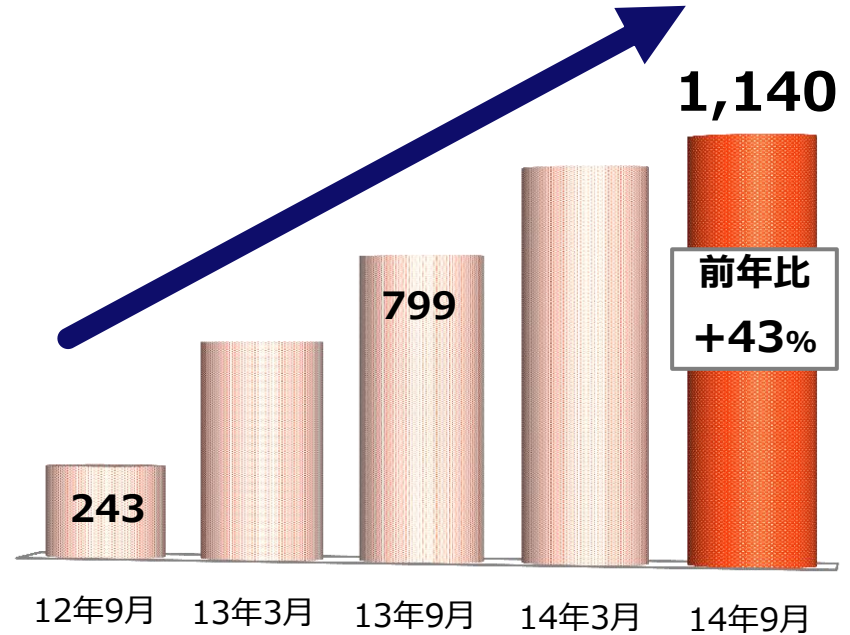
付加価値売上推移

(億円)



auスマートパス会員数推移

(万)



成長戦略の主なサービス (3)

au WALLET

サービス開始後 5ヶ月で、申込み数は660万を突破



買い物に使えて
(プリペイド)



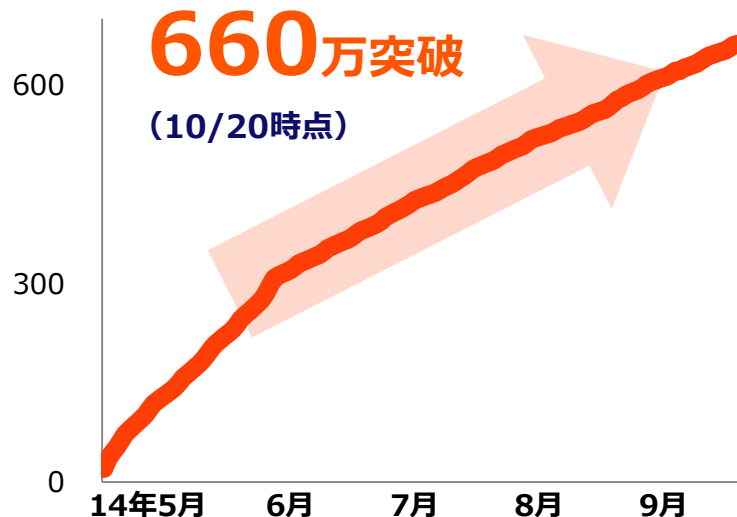
ポイントも貯まる



+

au WALLET申込み数

(万)



クレジットカードの提供により取扱高の拡大を目指す

au WALLEETカード



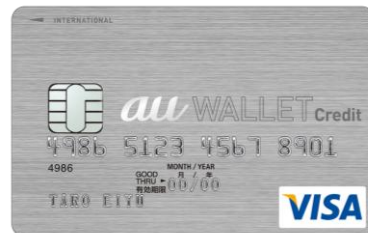
ポイント還元率

通常200円で1ポイント

au WALLEETクレジットカード

10月28日申込受付開始

NEW



ポイント還元率

通常200円で2ポイント



ポイントを貯める機会の拡大

(通信料金や公共料金の毎月の支払い等)

お店で



Webで



お申し込みは

ネットとリアルサービスを本格融合

ネット

auスマートパス会員数
1,140万人



リアル

au WALLEET申込数
660万人



KDDIバリューイネイブラー（KVE）

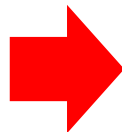
KVEを通じ、拡大するMVNO*市場における KDDIネットワーク利用者増を目指す

KVE

スマートフォン販売に対する
サポート



- ✓ 通信サービス
- ✓ 端末調達
- ✓ カスタマーサポート

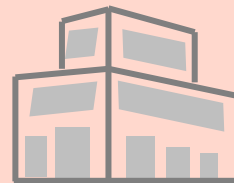


家電量販店等のパートナー

独自スマートフォンの販売等

マーケティング

販売



グローバル事業の成長戦略

世界27地域、60都市、103拠点でお客様をサポート

グローバルICT
(法人向け)

データ
センター

ネット
ワーク

クラウド
/SI

データセンターを核とした
事業モデルの更なる強化

グローバルコンシューマ
(個人向け)

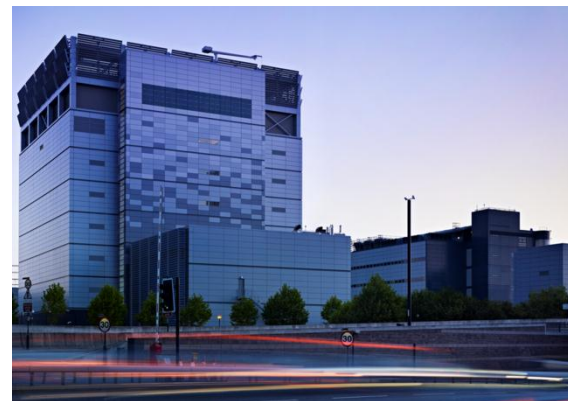
新興国での
新事業

米国での
MVNO

新興国・アジアでの
事業拡大を目指す

データセンター事業「テレハウス」

世界13カ国/地域・24都市・46拠点



旗艦データセンター
ロンドン ドックランド ウエスト

ロンドンのデータセンターを来年度拡張、現地最大規模
450以上の通信事業者がつながる要衝「LINX*」があり、
インターネット通信量増大に伴う旺盛な需要を取込む。



データセンター内部

*LINX London Internet Exchangeの略。ロンドンにあるインターネット接続業者の相互接続点

ミャンマー通信事業への参入

2014年7月 「共同事業運営契約」を締結

KDDIの役割



日本品質

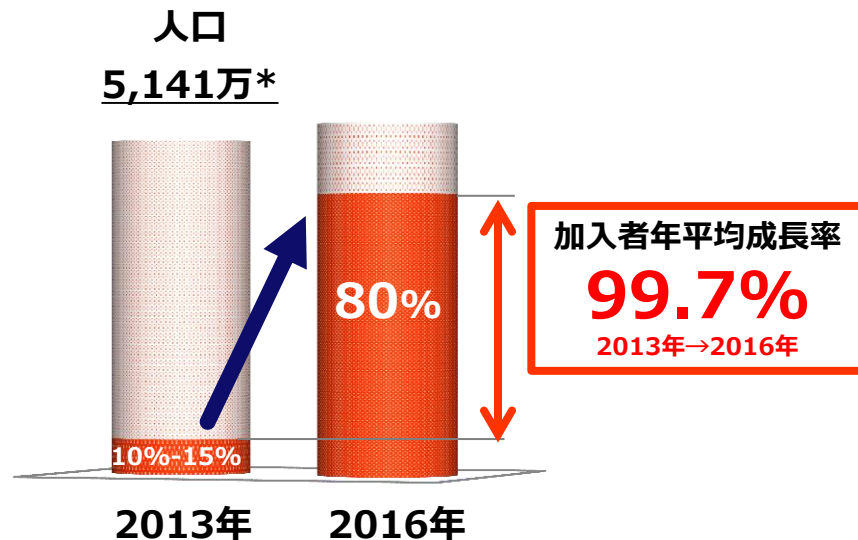
マーケティングノウハウ

技術・運用ノウハウ

新規設備

資金

携帯電話普及率ミャンマー政府目標

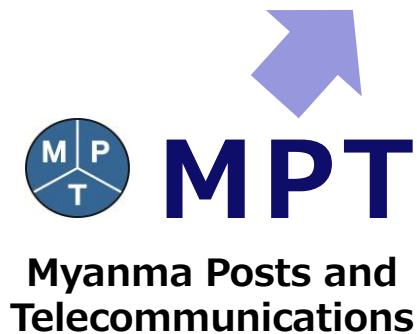


*ミャンマー入国管理・人口省発表による

ミャンマー通信事業スタート

9月に100万枚超のSIM*を販売

2014年9月新ブランドを発表



最大都市ヤンゴン中心部に新規開店した店舗

*SIM Subscriber Identity Module Card 電話番号や契約情報が書き込まれた小型ICカード
カードをスマートフォンなどの通信端末に挿入して、電話・データを利用する

中期経営目標

2013年度

今後

(2014年度から2015年度まで)

利益成長

➤ 連結営業利益

前期比

29%成長



毎期成長率
2ケタ

➤ EPS*

前期比

26%成長



株主還元

➤ 配当性向

33%



配当性向
30%超

➤ 自己株式取得

経営の選択肢として検討

* EPS (Earnings per Share): 1株当たり当期純利益

KDDIの「IRメールマガジン」に、是非ご登録ください！

決算・新サービスをはじめとした当社をさらにご理解いただくための情報から、最新の通信技術・世界の通信事情まで、様々な情報をホームページに掲載しています。



【決算情報】



【Time & Space】

KDDIがお届けするデジタル情報サイト

「IRメールマガジン」にご登録いただいた方には、最新ニュースを掲載の都度、Eメールでお知らせいたします。是非この機会にご登録ください！

以下のURLからご登録いただけます。

<http://www.kddi.com/ir-m/>

光ファイバー	<p>読み: ひかりふあいばー 英語名: Optical Fiber</p> <p>光ファイバーとは、光信号でデータを伝送するケーブルのこと。ガラスやプラスチック、フッ素樹脂などが素材に用いられる。データは、電気信号を光の強弱によって転送する。光ファイバーは銅線に比べ高速・大量のデータを少ない損失で伝送することが可能であり電磁誘導を受けないという特徴を持つ。KDDIの「auひかり」では最大1Gbps (1000Mbps) の伝送速度が実現可能。</p>
CATV (ケーブルテレビ)	<p>読み: けーぶるてれび、しーえーていーびー 英語名: Community Antenna TeleVision</p> <p>CATV (ケーブルテレビ) とは、ケーブルテレビ会社が敷設するケーブル (同軸、光ファイバー) を利用してテレビ番組を放送するサービス。地上波テレビ局のチャンネル以外にも、数多くの有料チャンネルが放送されている。また共同住宅や難視聴対策としても利用される。さらに、CATV用のケーブルを使って、テレビ放送ばかりでなく、インターネットや電話の利用も可能となっている。KDDIでは、ケーブルテレビ各社と提携し、ケーブルプラス電話を提供している。</p>
パケット通信	<p>読み: ぱけつとつうしん 英語名: Packet Communication</p> <p>パケット通信とは、データを一定の大きさのパケット (小包) に分割して、そのパケットごとに宛先アドレスや送信元アドレス、データの内容を表すフラグなどのヘッダを付けて通信する方式 (1パケット = 128バイト)。パケット通信方式は、回線を占有して通信を行う回線交換方式よりも効率的に伝送できる。</p>
ARPU	<p>読み: あーぷ、えーあーるぴーゆー 英語名: Average Revenue per Unit</p> <p>ARPUとは、Average Revenue per Unitの略。1契約あたりの月間売上高。音声・データ両サービスにおいて算出。</p>

au 4G LTE	<p>読み: えーゆーふおーじーえるていーいー 英語名: au 4G LTE</p> <p>au 4G LTEとは、auスマートフォンやiPhone 5/5s/5c向け、タブレットなどに提供される高速データ通信サービスのこと。LTE（Long Term Evolution）は第3世代携帯電話のデータ通信を発展させた技術であり、次世代の通信規格に続くものであるため、3.9Gとも呼ばれていたが、ITU（国際電気通信連合）がLTEなどの通信規格を4Gと呼称することを認めたため、KDDIをはじめとした各国の通信事業者はLTEを採用した通信サービスに4Gの呼称を用いている。</p> <p>au 4G LTEは、2012年9月のiPhone 5発売と同時にサービスが開始され、同年10月にはAndroidスマートフォン10機種が発表された。現在はフィーチャーフォンなどを除き、auの最新のスマートフォンやタブレットはほぼ全機種がau 4G LTEに対応する。通信速度は当初、受信時最大75Mbpsで提供されたが、2013年には利用する周波数帯域を拡大し、受信時最大100Mbpsのサービスを開始し、その後、受信時最大150Mbpsまでの高速化を実現している。利用できるエリアはサービス開始から順次拡大し、2014年3月末現在、実人口カバー率は99%まで広がっている。</p>
キャリアアグリゲーション	<p>読み: きゃりああぐりげーしょん 英語名: Carrier Aggregation</p> <p>キャリアアグリゲーション（Carrier Aggregation）とは、複数の周波数帯の電波（キャリア）を束ねて、データ通信をする技術で、次世代の通信技術である「LTE-Advanced」のRelease10で採用されている技術のひとつ。機能。キャリアアグリゲーションを利用することで、携帯電話事業者は、伝搬環境が異なる複数の周波数帯域を用いることによる通信品質の向上、複数の周波数帯域へのより効率的な負荷分散ができるというメリットがある。</p>

<p>プラチナバンド</p>	<p>読み: ぷらちなばんど 英語名: platinum band</p> <p>プラチナバンドとは、携帯電話サービスでの利用に適した周波数帯のこと。携帯電話サービスは各携帯電話事業者が割り当てられた周波数帯を利用し、サービスを提供しているが、電波は周波数帯によって、特性が違う。一般的に高い周波数は直進性が強く、障害物に遮られたり、反射してしまうのに対し、低い周波数は障害物などがあっても電波が回り込み、建物内にも電波が浸透しやすいという特性を持つ。</p> <p>こうした特性から、700～900MHz帯は携帯電話サービスの提供に適していると言われ、古くから「ゴールデンバンド（Golden Band）」などと呼ばれてきたが、最近では広告などで利用されたこともあり、「プラチナバンド（Platinum Band）」と呼ばれることが多い。</p> <p>現在、国内の主要3社にはプラチナバンドの周波数が割り当てられており、この帯域を使って、現在の主力サービスであるLTEによる高速データ通信サービスも提供されている。</p>
<p>auスマートバリュー</p>	<p>読み: えーゆーすまーとばりゆー</p> <p>auスマートバリューとは、auのスマートフォンおよびタブレットと固定通信サービスを組み合わせた割引サービスのこと。スマートフォンおよびタブレットで指定のポケット定額サービスと、対象の固定通信サービス（ネット + 電話）を申し込み中、スマートフォン・タブレットの月額利用料から最大2年間、毎月1,410円が割引かれる。3年目以降は、毎月934円が割引かれる。固定通信サービスは、auひかり、auひかりちゅら、コミュファ光、eo光といった光ファイバーサービス。さらに、ケーブルテレビ回線を用いたインターネット接続サービスや電話サービスを提供するJ:COMなどのケーブルテレビ回線サービスも対象となる。尚、固定通信サービスの契約者と同居している家族もスマートフォンおよびタブレット10回線までの割引を受けられる。</p>

タブレット	タブレットとは、ボード状のパソコン用ポインティングデバイス、あるいは同様の形状を採用したパソコンや端末を指す。タブレットは元々、机 (Table) を語源としており、パソコンの周辺機器として、タブレットやペンタブレットと呼ばれる製品が比較的、古くから販売されてきた。パソコンの接続されたボード状のタブレットの上を専用のペンでなぞることにより、ディスプレイ上の座標を動かし、絵や製図を書けるようにしている。
MVNO	読み: えむぶいえぬおー 英語名: Mobile Virtual Network Operator MVNOとは、Mobile Virtual Network Operator (仮想移動体サービス事業) の略。無線通信インフラを他携帯電話事業者などから借り受けてサービスを提供している事業者のこと。
ICT	ICTとは、Information and Communication Technologies:ICTs (情報通信技術)の略。以前は、ITという言葉が主に使われたが、インターネット時代の昨今では、コンピュータシステムのみならず、さまざまなシステムが通信ネットワークで接続されることによって、多くの付加価値を産み出すことから、「ICT」の語が用いられることが多くなった。
データセンター	データセンターとは、コンピュータ設備や通信設備を設置するための施設のこと。また、その施設を運営することをデータセンター事業という。安定した電源の供給や、広帯域のバックボーン回線との接続、24時間365日の運用保守など、情報通信ネットワークの基幹施設としての役割を担う。

クラウド	クラウドとは、インターネットにつながるサーバー群が情報サービスを提供すること。いわゆるwebサービスやSaaSと同じことをいう場合が多いが、特に情報システムの構成 (利用者PC = こちら側、インターネット = あちら側) に注目した場合に使われる。
SIM	<p>SIM(シム)とは、携帯電話の回線情報が記録された小型ICカードのこと。</p> <p>SIMカードには固有のIDが記録されており、このIDで携帯電話はネットワークに接続している。SIMカードを用いる携帯電話の場合、SIMカードなしでは通常の通信はできない。携帯電話事業者が発行し、携帯電話事業者またはMVNO事業者が契約者に販売または貸与している。</p> <p>SIMカードは接触型のICカードで、表面に平面型の電極がある。標準SIMカードの場合で15×25mmの大きさとなっており、これをクレジットカードサイズの台紙から切り出し、携帯電話のSIMカード専用スロットに挿入して用いる。</p>

Designing The Future

KDDI